



第2号 平成28年7月20日発行



耳を澄ますと遠くの林の方から蝉の声が聞こえてくる頃となりました。生徒にとって、明日からは待ちに待った夏休みです。3年生にとって、中学校生活最後の夏休みということで、地区総体大会や県総体大会で悔いを残すことなく、精一杯頑張つて欲しい夏休みです。また、1、2年生にとっても充実した日々を送れるように、自分の立てた計画に従い、しっかりと部活動や勉強に励んで欲しいと思います。また、このような長期の休みこそ、地域に戻って活動ができる時もあります。昨年度多くの生徒が参加した町福祉協議会主催の「サマーボランティア」や、学校支援ボランティア主催の「天体観測会」などに積極的に参加し、地域の方との連携をさらに深めてもらえたたらと思っております。

## [熱気球ボランティアに参加してきました！]

7月2日（土）に、町の小山文化スポーツ振興事業である「熱気球ふれあい in 高根沢」に13名の生徒がボランティアとして参加してきました。天候にも恵まれ、それぞれに貴重な体験ができたようです。

11月にも2回目が実施されますので、さらに多くの参加を期待しています。  
以下に生徒の感想を載せます。

「僕は今回で2回目でしたが、とても楽しかったです。いろんな人の協力があってこういうことができるんだと思いました。」（3年男子）  
「今までやったことのない体験ができてとても楽しかったです。皆と仲良く遊んだり、たくさんしゃべったりしていい思い出になりました。」（2年女子）



## [My Dreamプロジェクト]

7月6日（水）県内各地から、様々な職業の方に講話をしていただく総合的な学習の時間の活動である「My Dream プロジェクト」が今年度も実施されました。

この活動は、本校のキャリア教育の一環として、昨年度から始めた活動です。当日は、「ゲームクリエイター」「パティシエ」「美容師・ネイリスト」「薬剤師」「看護師」「栃木ブレックススタッフ」「農業従事者」「宇都宮ブリッジエンゼラルマネージャー」「動物園飼育員」「保育士」の職業人合計14名の方が来校され、生徒たちにその職業に就くまでの過程、その仕事のやりがい、必要な資格等様々な話をしてくださいました。

今年度は、生徒の希望が多かったスポーツ関係の講師を増やし、保護者の方の希望の多かった医療関係の職業の方も講師として招聘しました。生徒たちは、昨年度とまた違った職業の方々の話を真剣なまなざしで聴いていました。また、今回も授業参観としてこの活動を保護者の方々にも公開していたので、多くの保護者にも参観していただきました。保護者の方々のアンケートの中に「昨年とは違う講師の方が来ていてよかったです。幅が広がったと思う。お話をとても分かりやすかったです。」「実際に話が聞けたことで、華やかな部分だけではなく、苦労する事もわかり、子供たちも将来的に目指す職業のビジョンが明確になると思うので、こういう機会があるのはとても良いことだと思います。」などがあり、保護者にとっても好評だったようです。ちなみに、昨年度も講師として来ていただいた「パティシエ」の橋本さんは、今年は実際にケーキ作りを体験させてくださいましたし、「保育士」の加藤さんは、今年度はキーボードで生徒たちと一緒に歌を歌ってくださるなど昨年からさらにバージョンアップしていただけたことも大変有り難かったです。また、学校支援ボランティアの方には、受付・接待への御協力をいただきました。本当に感謝しております。



「宇都宮ブリッジエン」

「薬剤師」

「看護師」

「農業従事者」

「保育士」

「パティシエ」